

## 標茶町議会第4回定例会

一般質問通告一覧

平成29年11月29日

No. 1

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
4 番	深 見 迪	1. 国保会計への必要な法定外繰り入れを行い、国保税の値上げはおさえるべきではないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月27日に本算定の最終的な公表をおこなうと聞いていたが、その結果、本町の負担する納付金は予想と比べてどのような差が生じているか。また、それに伴う国保税の試算に変化が生じているか。</li> <li>・ 標茶町は国保運営の広域化に伴い、赤字解消として7年かけて法定外繰り入れの解消を目指す計画を立て、29年度は1年前倒しで1,000万円の被保険者負担増を行った。 7年間で7,000万円の被保険者の負担増を行うことは、払えない被保険者を増やすことになり、その負担は医療費や生活費、教育費に重くのしかかることは必至であると考えるが町はその実態をどのようにとらえているか。</li> <li>・ 広域化に伴い、各市町村、団体では法定外の必要な繰り入れについて検討する余地があるとしているところもある。本町でも従来通り法定外繰り入れを行いこれ以上の国保税値上げをするべきではないと考えるがどうか。</li> </ul>	町長	
		2. 総合事業になったことによって要支援1、2の人のサービスを低下させてはならない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年から本町では「要支援 1、2」が市町村の「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行したが、介護報酬の削減が行われている。総合事業に移行したことは制度的には後退と考えるが、利用者へのサービスがそのことにより後退しないよう町としても予算措置をし、サービス水準を低下させないようにすべきと考えるがどうか。</li> <li>・ 新総合事業で上限額を超えた場合であっても町がその分を負担すべきと考えるがどうか。</li> </ul>	町長	
		3. 「生活援助」の機械的な回数制限をせず、必要な利用者には必要な回数の援助を行うべき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険7期を前にして、介護保険制度が根底から崩れるような提案がなされようとしている。7期を前にして何らかの通知もしくは通達等があったのか。あったとしたらその内容の概要はどのようなものであり、町としてはどのような問題意識、課題意識を持っているか。</li> </ul>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「社会保障審議会介護給付費分科会(第 152 回)議事次第」を読んだが、それを受けて厚労省は、「生活援助中心型サービスについて「全国平均利用回数+2標準偏差」を超える利用を「通常の利用状況と著しく異なる」と指摘し、基準を超える訪問介護を行う場合は、ケアマネージャーが市町村にケアプランを届け出ることとし、そのケアプランについて市町村で「地域ケア会議の開催等で検証を行うこと」となっている。これは機械的に生活援助の回数を減らすことを目的とし、その役割を町の地域ケア会議に果たさせようとするものではないかと考えるがどうか。</li> <li>・ 地域ケア会議で、「全国平均利用回数+2標準偏差」で回数を検証、点検すると介護支援員がケアプランを作成するとき、利用者に必要な介護ケアプランではなく、示された標準偏差の回数でケアプランを立てるような懸念が生じるが、町はそのようなことがないよう、アセスメントに裏付けられた支援員の作成したケアプランを尊重し、必要な利用者には必要な回数の援助を適正に行うようにすべきと考えるがどうか。</li> <li>・ これらの取り組みを適正に行い、「一人の不幸も見逃さない」町の福祉理念に沿った介護保険制度の実施を強く望むが、町長の所見を伺う。</li> </ul>		
3番	熊谷善行	1. 標茶霊園に合葬納骨堂を建立してはどうか	<p>標茶町には、14ヶ所の墓地管理組合及び墓地公園運営委員会があります。これらの管理組合に確認をしたところ、聞き取り調査ですが2ヶ所の無縁焼骨堂と7～8ヶ所の無縁合葬墓（個人的に設置したもの含む。）が設置されており、トータルで約200弱の無縁焼骨があり、寺院に預けられているものもあると聞きました。また、ある無縁焼骨堂は数が多くなってきて手狭になってきているとの話もありました。</p> <p>最近の、お墓建立業者の話でも、新規のお墓建立よりも墓終いをお願いされるほうが増加しているとのこと。これは、近い将来無縁になる可能性のある方が生前に処理を考えたり、先祖のお墓も含めた自分たちのお墓の維持管理を将来とも子どもたちに負担をかけたくないなどの理由があるようです。</p> <p>また、墓終いをするにもかなりの費用が掛かりますし、どこかに永代供養を</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<p>お願いするにしても多くの費用が掛かると聞いています。</p> <p>全国的な地方の人口減少や都市部への一極集中の状況などを考えると、今後先に述べたような状況がますます増加していくのではないかと考えられます。</p> <p>標茶町の開拓や発展に大きく寄与された先人の方々や、将来の私たちも含めて標茶町にゆかりの方々を永代供養ができる、宗教・宗派に関係のない合葬納骨堂の建立が必要ではないかと考えますが、所見を伺います。</p>		
		<p>2. 標茶町中央学校給食共同調理場の建て替えは</p>	<p>平成26年6月定例会でも質問をしました。また、同僚議員が平成26年12月定例会でも質問していますが、標茶町中央学校給食共同調理場は昭和56年に建設され36年が経過しており、老朽化が進むとともに学校給食衛生管理基準の区分事の施設となっていないなどから、第四期総合計画第2次3ヵ年計画では平成27年から2ヵ年で建て替え計画となっている。</p> <p>また、最近の新聞報道では市と関連する町村により、学校給食のみではなく地場産食材を使用した食育レストランを併設した給食センターが建設されました。これは、民間資金活用による社会資本整備（PFI方式）を採用し、特別目的会社が建設・運営を担っているとのことです。</p> <p>先の一般質問の答弁では、整備する場合のPFI方式の一定の効果がある認識や、施設改築の緊急度や財政事情を考慮して町長部局と整備方針の検討をしていくとのことでしたが、どのような計画または検討をしているのか伺う。</p> <p>また、整備する場合の計画において、1次産品を活用した「標茶ブランドの特産品開発」や「加工研究から販売流通」などの拠点となる施設を併設することにより相乗効果が期待できると考えますし、働く場の確保にもつながると考えるが所見を伺う。</p>	<p>教育長 町長</p>	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
8番	渡邊定之	1. 育成牧場での牛の事故とその対応について聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育成牧場でのこれまでの事故についての状況を聞く。</li> <li>・ 育成牧場での牛の事故について、原因や対策について利用者への説明は適切に行っているか。</li> <li>・ 事故が起きた場合の危機管理体制等のマニュアルはできているか。また、あるとすればどのように職員に徹底しているか。</li> <li>・ 事故防止のため今もっとも力を入れていることは何か。</li> <li>・ 入牧前に利用者ができる検査をすることにより事故の発生を防ぐことができるのではないかと考えるがどうか。また、その検査に伴う経費はどのくらいか。</li> </ul>	町長	
		2. 生乳の「指定団体制度」の廃止から標茶の酪農をどう守るか所見を聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規制改革推進会議が生乳の「指定団体制度」を撤廃し、規制緩和を行うことを提言した。その理由に、生産者に多様な選択肢がないなどをあげているが、実態は規模拡大による負債増大、EPA, TPPなど先行きの不安に対する流れではないかと考えるが、この点について町長の所見を伺う。</li> <li>・ 生乳の「指定団体制度」の廃止は、欧米の酪農、乳製品擁護の制度と比べ、酪農の崩壊につながりかねない提言と考えるが、町長の所見を伺う。</li> <li>・ この「指定団体制度」の撤廃は、酪農の危機のみではなく地域経済への大打撃にもつながると考えるがどうか。</li> <li>・ この規制緩和から本町の基幹産業である酪農を守るため、国に対して必要な要請を行うべきと考えるがどうか。</li> </ul>	町長	
2番	後藤勲	1. 現在改築中の川上公住の進捗状況と今後の方向性について	1棟目の2/3位まで改修が出来、改めて入居している人もいるが問題も出てきているため、今後、住民の考え等を聞き改善をしていくつもりがあるのか伺う。	町長	
		2. 総合表彰式のあり方について	11月3日文化の日の表彰式に何度か出席をしているが毎年の様に何も改善されず年々出席者も減少している中、もう少し長年の労をねぎらう対応の仕方ができないのか伺う。	町長	
		3. 町内巡回バスの利用状況と今後の対応について	10月の中旬から試験的に運行しているバスの利用状況と今後の見通しについて詳しく説明をして頂きたい。例えば、午後からの運行、冬の対応、年齢制限など。	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
9番	鈴木裕美	道徳教育について	<p>来年4月から小学校では道徳科として教科書を使い授業が行われますが、教育長は道徳教科書に目を通されていますか伺います。また、その教科書をどのように感じられたのか伺います。</p> <p>教育は人を育てることで道徳教育は国が特定の価値を決めて教えるものではなく、子供たちの考え方や感じたことをより大きくふくらませて保障してあげるためのもので教科書で評価されるものではないと考えますが評価することをどのように考えているのか伺います。</p> <p>更に道徳教育は個人の尊厳を基本に一人ひとりの子供たちの人格の完成を目指すものです。授業は原則、担任が担当となっているが色々な方面から教職員が議論をする時間が必要と考えますが、いかがでしょうか伺います。</p> <p>しかし、一方では教職員の負担増になるのではと危惧されますがいかがでしょうか。</p> <p>道徳教科にあたっては、道徳教育推進リーダー教師を地域に配置するとなっていますが、別に職員を配置するのでしょうか。</p> <p>文部科学省は2015年3月に学習指導要領の一部を改正し、道徳を「特別の教科道徳」としていますが、「特別の教科道徳」とはどんなものなのか伺います。</p>	教育長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
1 番	櫻井一隆	「憩の家かや沼」の経営状況と今後の見通しについて	<p>① 公社として今日までどの様な経営改善を行ってきたのか、その結果として、11月末日までの収支状況はどうなったのか、第40期計画では収入計10,235万円、当期利益45万円となっているが実現可能なのか。また、現在の債務状況はどうなっているか説明してはどうか。</p> <p>② 町民の税金に頼らない経営改善策はみいだせたのか、それとも金銭の不足が生じたら町民の血税の投入を今も考えているのか説明を求める。</p> <p>③ 憩の家かや沼に町職員が4名の交代でサポートに入って実働しているが29年4月1日から11月末日までの延人数は何人になるのか、また、その人件費は、時間外労働を含めると幾らになるのか示すこと、また、この様な状態は標茶町職員研修規程に反するのではないか説明を求める。</p> <p>④ 平成29年9月の定例会において「無期限の入浴優待券」は無いとの答弁であった、この答弁には大変疑問が残る、今一度調べ直してから答弁をしてはどうか。今でも無いと言い切るのか説明を求める。</p> <p>⑤ 平成30年3月31日で標茶町観光開発公社での指定管理者が終わるが、町長は今後もこの会社と指定管理を結ぶのか考えを伺いたい。</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
1 番	櫻 井 一 隆	食肉加工場建設の進 捗状況について	<p>標茶町を流れる河川については漁業関係者等の理解を得ることができずに断念することとなった。町長の公約でもあり一日でも早い着工を町民は望んでいる。以下2件の質問をする。</p> <p>① 下流域の関係機関及び漁業関係者との協議はどこまで進んだのか伺う。</p> <p>② 国及び道等との補助についてはどのような話となっているのか説明を求める。</p>	町長	